

の言葉を大切に段落と段落の接続にも気付かせ、それとともにワークシートも効果的に活用した。

公開授業③ 5・6年生国語科

5年生「森を育てる炭づくり」、6年生「人類よ宇宙人になれ」では、要点を線引きすることで本時の課題に迫ったと同時に、5年生では特に「キーワード」となる言葉に着目させ、それらをワークシートにまとめることによりより深い読みへとつなげていった。

4 研究協議

討議の柱に基づき次の3点について話し合われた。①「取り組みカード」は5種類を基本とし、実態により弾力的に用い、思考を助ける手段として、今後は簡略化の方向で進めていく。間接指導時に主体的な学習態度を身に付けさせたり、見通しを持たせたりする上で効果的である。②「線引き」は自分の考えをまとめ、その根拠となる記述に着目するための方法ととらえている。③「ワークシート」については違うものを与え全員が完成するのではなく、同じものを与え到達の度合いに応じて評価し、個に応じた指導をしていくこととした。

第4分科会

せたな町立平田内小学校

1 研究主題

「一人一人の学びの力を高め、生き生きと学習をすすめる子どもの育成」～算数科における個に応じた指導の工夫を通して

2 研究内容

2つの研究視点を設定し実践研究を進めた

- (1)「基礎・基本の定着を旨とした指導計画の作成」
 - ①学習実態の把握②個に応じた指導の手だてを明示した指導計画の作成
- (2)「自ら生き生きと学ぶ力をつける指導方法の工夫」
 - ①課題提示の工夫②学習シートや間接指導時の工夫③おたすけアイテムの活用

3 公開授業

公開授業① 1年生「たしざん」

2年生「ひっ算のしかたを考えよう」

1・2年生は、個や友達と協力して解決できるように、具体物や半具体物(卵パック・ピンポン玉・ゲーム用カード・数カードなど)を活用した算数的活動を通して課題解決が図られていた。

公開授業② 5年生「小数の割り算を考えよう」

6年生「分数のかけ算と割り算を考えよう」

一人学年の5年生は、既習事項を生かしながらおたすけアイテム(数直線図)を有効に活用し理解を深めていた。6年生は、ホワイトボードを活用し個の考えを図で表し理解を図った。また、学習リーダーを中心に考えの交流場面を設定し、互いの考えの良さや違いに気づく場面も見られた。

4 研究協議

研究協議では、学習シート、学習形態、おたすけアイテムや算数的活動、レディネステスト等について話し合われた。公開授業は子どもが自ら学習を進めるための工夫がなされていたが子ども同士のかかわり合いや考えを深め合う学習が今後の課題として見えてきた。

助言者からは、研究推進にかかわって学習状況を把握し、個に応じた指導の手立てを具体的に位置づけている点やアイテムなどの開発が主体的な課題解決を促し、学習意欲や基礎・基本の定着を高める取り組みになっている点として評価をいただいた。



活動の充実を、仮説③で複式学級集団での自学自習のために必要な集団の指導の仕方を探り、全校一貫した算数の系統的な指導と学習集団づくりを確立すべく、講座や学習会、授業検証をしてきた。



3 公開授業

① 1年生「たし算」

繰り上がりのたし算の導入。具体物の操作でイメージ化を図り、タイル操作で「10の補数を利用した方法」「5-2進法を利用した方法」の二つの操作を通して、繰り上がりのたし算の理解を深めた。

② 5・6年生

「少数のかけ算」「分数のかけ算と割り算」

小数をかけることの意味や、分数×分数という演算の意味を理解させるために、問題文をイメージさせる作業を行い、小数は小数タイル、分数は折り紙を使い、その計算の仕組みを理解させた。

4 研究討議

研究会参加者で小グループを作って、班討議→全体討議という流れで討議し、とても活発な意見交流が行われた。特に計算の具体的な操作における教材の視覚的効果の重要性和教師側の配慮の大切さが話題になった。また、一つの単元だけでなく算数全体を通した子どもたちの思考の系統性についても話し合われた。全学年を通した算数の指導の一貫性が評価され、今後さらに細部にわたる丁寧な指導の研究を示唆された。学習集団の成長も評価していただき、館小学校として励みになった研究会であった。

第3分科会

乙部町立明和小学校



1 研究主題

「学び方がわかり、進んで学習する子どもを目指して～読み取る力を伸ばす国語科学習指導の工夫～」

2 研究内容

研究主題に迫るために、視点を次の3点に絞り研究を進めた。＜視点1>「学び方を身につけさせる目標・指導計画・評価規準の工夫」＜視点2>「正しく『読み取る力』を身につけさせる手だての工夫」＜視点3>「基礎・基本を身につけさせるための個に応じた指導の工夫」

3 公開授業

3つの公開授業とも、「取り組み(やること)カード」を活用し、間接指導時の児童の主体的な活動を促し、それらをもとに直接指導でより深い読み取りを行った。

公開授業① 1・2年生国語科

1年生「はたらくじどう車」、2年生「さげが大きくなるまで」では、コンクリートミキサー車の「つかいみち」「つくり」「はたらき」、さげの成長過程における「時」「場所」「様子」それぞれにおいて三色ペンによる線引き、ワークシートの活用により、言葉一つ一つを大切にしながらより深い読み取りを行った。

公開授業② 3・4年生国語科

3年生「広い言葉、せまい言葉」、4年生「アーチ橋の仕組み」では、段落を正しく読む活動に重点を置いた。また「まず」「次に」「さて」など